

暮らしに明るい希望を！「経済改革プラン」を訴える！

—いのほら真弓衆院予定候補（共産党）が各所で—



日本共産党
【政治活動版】
【発行】
日本共産党
尾道市委員会
Tel.0848-22-3891
Fax.0848-23-3534

新聞赤旗
申込先
岡野長寿
0845-22-2596
魚谷さとる
0848-22-2810



寺田元子三原市議と訴える いのほら真弓予定候補

弱肉強食の新自由主義から脱却し、新しい福祉国家をつくらう（自民党には反省がない）

11月4日、日本共産党衆院5区のいのほら真弓予定候補は、三原市の5箇所で街頭演説を行いました。

いのほら予定候補は、「日本経済が、ここ30年停滞し、給料が上がらない国になってしまった。このことへの反省が自民党にないのが大問題だ」と訴えました。

「企業が活躍しやすい国をつくる。消費増税増税路線を撤回させ、格差是正をはかる」と訴えました。

消費増税増税路線を撤回させ、格差是正をはかる

「国民から可処分所得を奪い、消費税を冷え込ませた2度の消費税増税の誤りを直視し、税と財政の果たすべき役割を考え直さなければなりません」「大企業・富裕層への行き過ぎた減税策を見直し、所得の再配分を通じて格差を是正しましょう」と訴え。

くらしを支える

積極予算を

また、いのほら予定候補は、「財界の要求である歳出削減や増税ではなく、くらしを支える積極予算を組んで日本経済の消費と需要を創出、好転させることが必要」と訴え、「私は社会保障、教育などの恒久的な制度を拡充する。若者を苦しめる大学学費の無償化、小中学校の給食費無償化。国保料や介護保険料の軽減を国の責任で行わせる」と決意を語りました。

ガザ攻撃中止・即時停戦を！

—共産党因南支部と岡野市議が訴え—



因南支部長と岡野市議

岡野市議は「今回のガザ危機の契機となったのはハマスによる無差別攻撃にあった。民間人無差別殺傷は国際法違反で許されない。直ちに人質の解放を求めます。」

同時に、イスラエルが1967年以来ヨルダン川西岸とガザ地区を占領下におき、住民の強制排除を行いながら入植を拡大してきたこと。空爆によって多くのパレスチナ人を犠

牲にしてきたという歴史的事実があり、これらはすべて国際法違反行為である。

イスラエルが自衛権を盾に軍事力行使して報復を行うことは決して許されない。

日本政府がこのイスラエルの行為を国際法違反と批判せず、人道的休戦を求める国連決議に棄権したことは情けない態度であり、このことから日本共産党は国際社会に向けて人道的危機打開のための行動をとる必要があると考え、各国政府にガザ攻撃中止と即時停戦に向けての要請を行った」と訴えました。

しまなみ海道橋代軽減を！

—共産党県議が初めて広島県議会で質疑—

共産党は4月の統一選挙、県議会で1議席から2議席に躍進。その力で住民要求実現の先頭にたつて頑張っています。

福山選挙区で初当選した河村ひろこ県議は、10月19日の建設委員会で尾道市のしまなみ海道通行料軽減問題を取りあげ、県としても尾道市と連携して、地元住民の料金軽減制度をつくるよう検討すべきではないかと質しました。

道路企画課長は、現行の料金水準が維持されるように取り組むことが重要との認識を示すだけで、県の対策については答弁を避けました。

白線引き直し予算の増額を！

—「兵庫県では予算を3倍にしている」—



また、河村県議は消えた横断歩道の問題を取りあげ、予算を2倍、3倍にすべきではないかと質しましたが、区画線の予算はR1年、2年が1.2億円。R3、4、5年が2億円というように増えているものの、要望箇所数も把握しておらず、消極的姿勢が明らかになりました。（左は消えた歩道尾道フジグラン付近）